

mrp

Lopes

SINGLE-RING CHAIN GUIDE

mrp ロープス シングルリング チェンガイド 取り付け説明書

消費者向けの安全に対する大切な情報

**警告：自転車に乗ることには危険がつきまといます。
それが正しくお手入れ、点検されていない自転車や部品であればなおさらです。
この説明書に目を通さないこともまた危険な行為となります。**

1. この説明書で表記されていない改造や調整は行わないで下さい。
2. 自転車に乗る前には毎回チェンガイドの点検を行って下さい。その際過度なすり減りや変形、ヒビなどの兆候がないか見て下さい。何かしら異常を見つけた際は乗車を止め、完璧な点検と修理の必要性を確認するため購入店へ持ち込むかMRPに問い合わせください。
3. 乗車時は常に頭にあったヘルメットなどの適切な安全用装備を着用されることを推奨します。無灯火での夜間走行は決して行わないで下さい。
4. 必ずMRPの純正部品をお使いください。2次市場の交換部品の使用、アップグレードは保証が無効になり、構造上の破損を招く恐れがあります。

MRPの取り付けは最寄りのショップの熟練したメカニックにお願いして下さい。
自分で取り付ける場合も、装着後ショップにて見てもらうことをお勧めします。

ロープスSLガイドはシングルリング、もしくは伝統的なMTBトリプルクラ
ンクのアウターとインナークランクを取り除いて使います。2x10スピード
のナローチェーン使用モデルではチェーンライン上最適な使い方が出来ま
せん。

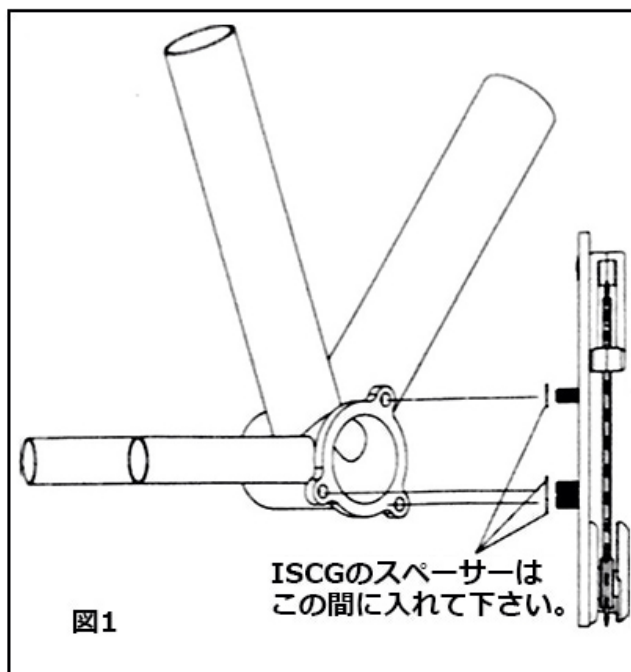


図1

付属のハードウェア

ISCG/ISCG-05取り付け用

M6 x 14mm ISCG取り付けネジ x3

M6 x 20mm ISCG取り付けネジ x3

1mm ISCGスペーサー x9

チェーンリングスペーサー x4

BBマウント用

チェーンリングスペーサー x4

*5アームのクランクを使われる方は別途スペーサーの購入、もしくはシングル用のチェーンリングホルトが必要です。

ステップ1

ISCG、ISCG-05用取り付け説明

付属のISCG取り付けネジを使ってガイドをフレームに取り付けて下さい。

フレームが受け付けるなら長い方のボルトを使って下さい（ボルトは14mmのものと20mmのものの2種類があります）。

ネジはプレートがしっかりと固定されるよう十分に締め付ける必要がありますが、ここではあとでプレートを回す工程があります。

クランクにチェーンリングが付いてなければ取り付けして下さい。チェーンリングはミドルリングの位置に取り付ける必要があります。

シングルスピード用でないチェーンリングボルトしかない場合は付属のチェーンリングスペーサーをスパイダーアームのアウトerring取り付け側に配置して下さい。

クランクをBBに取り付け、その後アッパー（上部）とロワー（下部）のガイドを取り付けます。理想的な配置は、チェーンリングがアッパーガイド表裏の接合部並びにロワーガイド内ブリーと一列に並ぶことです。

一列に並んでない場合、9枚ある1mmのスペーサーを使って調整して下さい（使う量はフレームにより変わります）。

スペーサーはフレームのISCGタブとガイドのバックプレートの間に配置して下さい（図1を参照）。

スペーサーの数は3カ所等しく配置して下さい。また一列にする調整目的でアッパー、ロワーガイドにスペーサーを使わないで下さい。

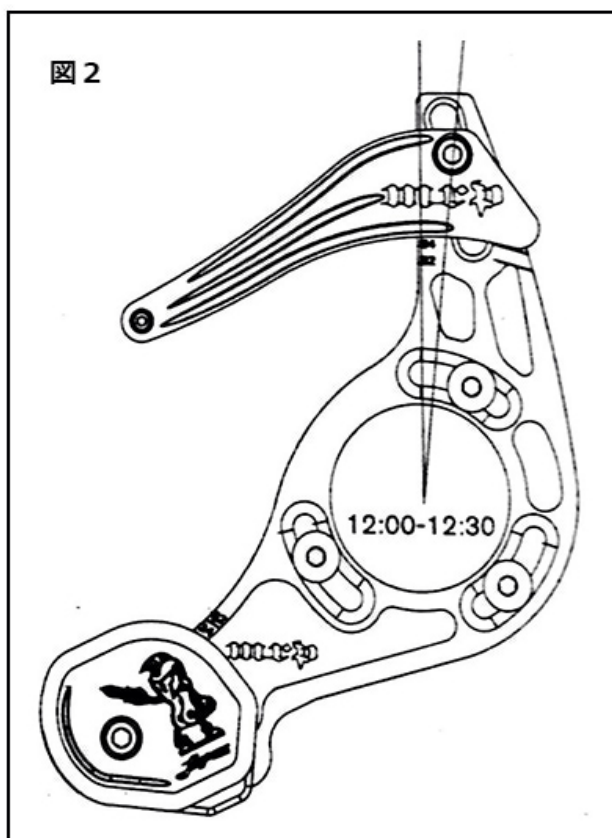
BBマウント用の取り付け説明

ドライブ（クランク）側のBBカップを取り外し、バックプレートをBBカップとフレームの間に配置して下さい（一部の68mm並びに83mmのシエルに取り付ける際はBBカップとスペーサーの間に）。

バックプレートはBBスペーサーに置き換わる役目を果たします。

スラムのGXP BBに取り付ける場合、ドライブ側にスペーサーと呼ばれるものはなく、BBマウント型のロープスSLは互換性がありチェーンラインにも影響を与えません。

BBカップは指で締め込める程度にしておいてください。



ステップ2

ISCG、ISCG-05用取り付け説明

アッパーガイドの取り付けボルトが12:00から12:30の位置に来るようにバックプレートを調整します（図2参照）。

調整が終わったら、ISCG取り付けネジを締め込みます。大半の場合、この作業でクランクを取り外す必要はありません。

BBマウント用の取り付け説明

アッパーガイドの取り付けボルトが12:00から12:30の位置に来るようにバックプレートを調整します（図2参照）。調整が終わったら、BBカップを推奨トルクで締め込んで下さい。

BBカップの取り付けにはクランク並びにアッパー、ロワーのガイドを取り外す必要があります。

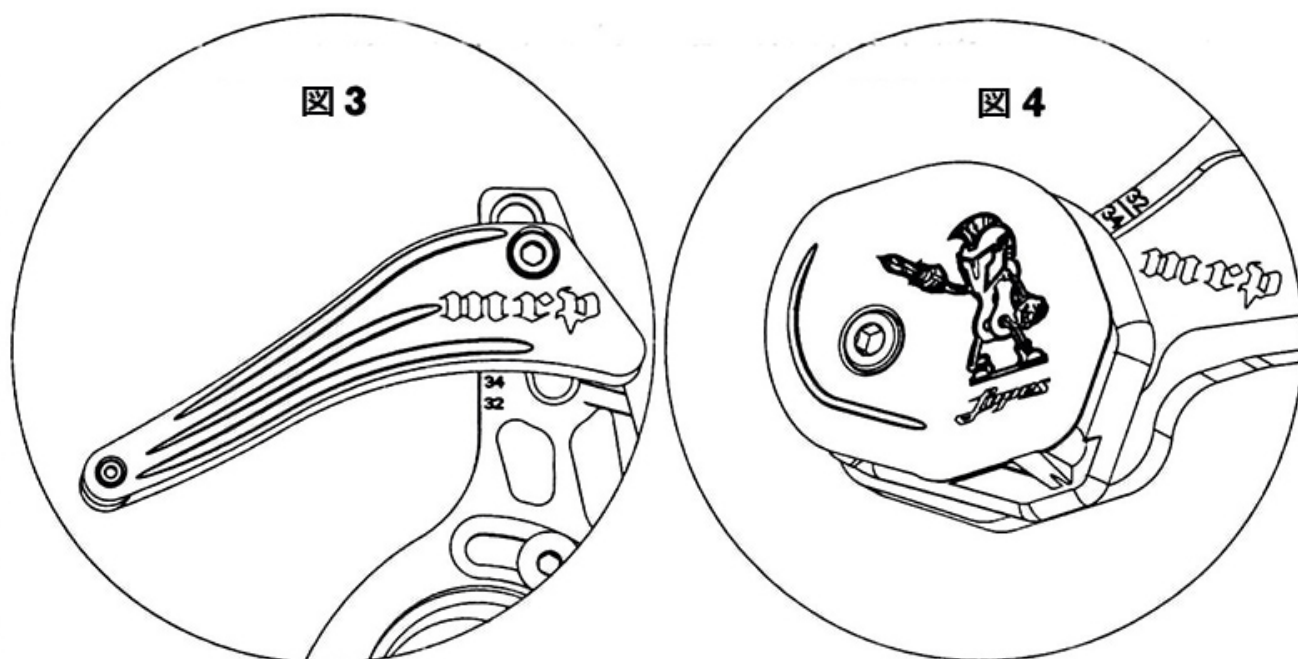
共通事項

チェンリングに乗ったチェーンがアッパーガイドの中を通り、ロワーガイドのプーリーの上を通すようチェーンを取り付けて下さい。

ステップ3

アッパー並びにロワーガイドを取り付けたチェンリングの歯数を基に、バックプレートのガイド近辺に印字されたガイドラインを参照して正しい位置に移動させます（図3と図4を参照）。奇数の歯数のチェンリングを使う場合、ガイドラインの中間にそれぞれのガイドを設置して下さい。位置が決まったら、1.35Nmを超えないトルクでネジを締め付けて下さい。締め付けすぎてガイドパーツが壊れないようかけるトルクには細心の周囲をはらって下さい。

これらの図は34Tのチェンリングを使う際の正しい取り付け位置を表示しています。



ステップ4

全ての締め具が正しく締められているか確認してください。また安全な場所でガイドが正常に機能しているか確認して下さい。問題があれば説明書のはじめからやり直して下さい。問題が解消しない場合、MRPbike.comのtech support（技術的サポート）ページを参照して下さい（取り付け動画も用意されています）。

お使いのガイドの寿命を長く保つために 潤滑剤とクリーナーに関するお知らせ

MRPのチェーンガイドもしくはバッシュガードを最大限活用し、その機能性を何年にも伸ばすためには、自転車やドライブトレインへの注油、清掃に気を配ることが大切です。市場にはMRP製品の多くに使われるポリカーボネイトに有害となるいくつかの溶剤や化合物の他、潤滑剤やクリーナーで良く使われる成分にも有害なものがあり、それらは以下の成分を含みます。

- 塗料用シンナー
- プロパン並びにブタン（金属缶の高圧ガスなど）
- アセトン
- アンモニア（洗浄成分）
- ベンゼン
- ヘキサン
- 灯油
- メチルエチルケトン
- テルペンチン

ドライ系の潤滑油にも浸透目的で溶剤が含まれており、MRPの寿命を縮める要因となります。

シトラス系のディグリーザーにさらすことも劇的に製品寿命を縮めます。

有害な製品が使われた一般的な兆候は以下のようなものです：

- 衝撃に起因しない破損
- 留め具、交換部、継ぎ目周辺の小さく、くっきりとしたヒビ
- 時間が経過してもろくなったプラスチック

これらの化学物質を避け、ガイドの滑らかな機能性を維持して下さい。
より詳しい情報に関しては本国サイト(MRPBIKE.COM)をご覧ください。



580 NORTH WESTGATE DR.
GRAND JUNCTION, CO 81505